

中原児童センター

読み聞かせタイム

日時：1月18日(土) 11:30~12:00
対象：乳幼児親子
内容：五反田図書館のお姉さんが来て読み聞かせをしてくれるよ
※キッズパーク内での実施になります

卒乳のおはなし

日時：1月20日(月) 10:30~11:30
対象：卒乳に興味のある方
定員：15組
申込：1月6日(月)~来館または電話受付

0歳からはじめるむし歯予防

日時：1月23日(木) 10:30~11:30
講師：歯科衛生士
対象：0歳児とその保護者
定員：15組
申込：1月6日(月)~来館または電話受付

産後ママのセルフケア

日時：2月13日(木) 10:30~11:45
対象：1カ月検診を終了しているR6.9.14生まれ以降の母親
定員：10組
申込：1月6日(月)~来館または電話受付

東五反田児童センター

0歳からはじめるむし歯予防

日時：1月20日(月) 10:30~11:30
講師：歯科衛生士
対象：0歳児とその保護者
定員：15組
申込：12月16日(月)~来館または電話受付

お問い合わせ：中原児童センター 03-3492-6119

東五反田児童センター 03-3443-1629

3町会合同

東五反田コミュニティ・サークル

LINE 公式アカウントはじめました！

どなたでも
ご登録下さい

五反田中部町会、五反田東口町会、五反田一丁目町会の3町会合同によるLINE公式アカウントでは、東五反田エリアにお住まいの方、又ご利用の方にこのエリアのお店やイベントなどの地域限定の情報を月一、二回これから皆さんに発信します。

東五反田コミュニティ・サークルからのお知らせをぜひお楽しみに、まずは登録してみてください！
登録は記載のQRコードからお願いします！



初夏に五反田駅前花壇に植えたコキアが秋の深まりと共に少しづつ赤く色づいてきました。植えた当初は小さくてみずみずしいグリーンが花壇いっぱいをうめ、爽やかでかわいらしいと評判でした。ただ大きいほうの花壇が昨年のヒマワリの不作で空き地同然になってしまったため、雑草が繁殖してこぼれた種が今年の異常気象の影響で勢いづいたためか、コキアが負けてしまい、半分ほど枯れてしまいました。本来なら11月から12月にかけて大きく成長したコキアが赤く色づいてくるのですが、残念ながら大きく成長せずに色づいてきたのもあります。小さいほうの花壇のコキアは大きく成長して色づきはじめてたのでこれからが楽しみです。コキアは和名をほうき草といいます。昨年は試しに植えた花壇のコキアを使ってほうき作りをしたグループもあります。五反田駅前をきれいにする会の方たちは、来年はひたち海浜公園に負けられないように五反田のコキアを育てていきたいと言われていました。(編集委員 服部)



ほうき作りの様子



コキアのほうき

ゴタンダデシタンダ!! 2024

10月6日(日)、雉子神社例大祭に合わせ、西五反田一・二・三町会のにぎわいイベント実行委員会が主催する「ゴタンダデシタンダ!! 2024」が開催されました。西五反田の道路を一部通行止めにし、チョークで落書きができたり人工芝の上で休憩できるスペースを用意。地域の企業・団体のワークショップや体験ブースも設け、近隣の親子連れが多数来場しました。西五反田一・二・三町会の神輿や山車が五反田の街を練り歩き、焼きそばや輪投げなどの屋台も来場者を楽しませました。(編集委員 古郡)



ドリームジョブツアー in 五反田バレー

11月26日(火)、品川区立日野学園の8年生を対象に「ドリームジョブツアー in 五反田バレー」が開催されました。五反田周辺の企業を「ドリームツアーガイド」として招待し、仕事のエピソードや経営者・社員の方の想いを聞くことで、生徒自身が働くことの意味や自身の将来について考えるきっかけとなりました。(編集委員 古郡)



雪合戦

母の話で 知る子供

西五反田六丁目 久保田 公二

突然に ラジオ「第九」に 感動す

西五反田三丁目 大島 道子

万馬券 一年間は 思い出し

大井三丁目 金輪 健

子宝も 思い通りに ならぬ親

旗の台六丁目 野村 美恵子

明日検査 酒止め野菜 ばかり食べ

旗の台四丁目 泉喜 久雄

ラブレター こつそりにやり 嬉しそう

旗の台六丁目 松本 悦子

川柳・俳句

編集後記

この国が少しずつ小さくなってきているように感じませんか。人口はここ十数年来減少し続けていますし、子供の出生数も年々減ってきています。逆に高齢者の割合は年々高くなるという少子高齢化社会が続いています。かつては世界2位までいった国内総生産(GDP)も2010年に中国に抜かれ、昨年は為替の影響もあって、ドイツにも抜かれました。そのうえ来年はインドにも抜かれる見通しとなっています。半世紀ほど前は「ジャパン・アズ・ナンバーワン」とまで評されたこともあったわが国を思い出してください。このまま手を拱いていて良いとは思えない気がしませんか？そして、今一度この国の叡智と努力を結集し、この国がこれ以上小さくならないような方策を考え、実行していきたいですね。(編集長 久保田)

● 地域の方が協力し意見を出し合って「はなぐるま」を作成しております。ご意見・ご感想や川柳・俳句などお気軽にお寄せください。編集委員も随時募集中です！一緒に紙面作りをしましょう。大崎第一地域センター 電話 3491-2000 までご連絡ください。